

幼 兒 教 育

第二十一卷
第四號

大正十年四月十五日發行

兒童保護宣傳の趣意

日本幼稚園協會會長 湯 原 元

古歌に、「しろがねもこがねも玉も何かせん子に如

くたから世にあらめやも」とあります通り、誰しも子供の教育を大切に思はない者はありませんが、實際はいろ／＼の事情から意の如くなりませんが、不幸な目に逢ふ子供が多いのでございます。小學校にはいる迄の教育はもとより家庭の責任であります。然しこの責任を盡しますには、家庭に於て種々の方面に餘裕があることが必要で、之がなか／＼一般には望まれません。某學校の調査によりますと、小學校に入る前に境遇のよい子供は、既に四千から一萬の單語を覚えてゐるといふ事で、之だけ知つてをりますれば、もう立派に世渡りが出来るわけでございます。ところが、なかには覚えてゐる單語の至つて少ない子供もございます。之は全く家庭の事情によることで、其の如何によつて、子供の將來が仕合に

も、不仕合にもなるのです。

幼稚園が近頃ますます／＼盛になつて來ましたのは、少くとも子供を幸福にと願ふ爲めですが、實際現在の幼稚園では、この需要に應じ得ません。唯出來ないこと云ふばかりでなく、教育の局に當つてをられる人々の中にも、教育と云ふものは、小學校から始まるやうに考へる方もあり、兎角學校の事と云へば、上の方へは世話が届きますが、下の方の即ち凡ての學校教育の基礎となる幼児期の教育が、怠り勝ちにされ易いのは甚だ遺憾の事と存じます。國家の將來を考へますと、大學の教育よりは、寧ろ幼兒の教育の方が大切であらうと存じます。其處で年來微力ながら幼稚園教育に力を注いでをります私共は、も少し下の方の教育に注意をして頂きたいと世間に訴へたいのであります。

幸ひ此の私共の微力も諸賢に御了解と、御援助を得まして、愈々来る**四月二十三日**を期し、児童保護宣傳の催しを致す事になりましたから、一般國民の注意をこの點に向けて頂きたいと思ふのであります。

そこで、この目的を達す爲めに、東京市に於ては、先づ第一回の試みとして、宣傳當日は、文部省、内務省の有志の方々を初め、幼児教育に興味を有せらるゝ教育家、篤志家に御依頼致しまして、市内各所で通俗講演會を催す事となりました、又當日は特に児童保護宣傳の爲めにつくりました印刷物を、全市の児童を通じて、各家庭に配布することになつてをります。

勿論、講演と申しましても、時と場所とに限りあることで、ことに、日本全國にむかつては、これだけでは徹底致しかねます。そこで、**四月二十三日**を期して、各小學校、幼稚園では一齊にこの爲めに力を注いで下さる事をお願い致す次第であります。例へば、全國の各小學校では、この半日を児童の爲めに、講話會や、學藝會を催すとか、幼稚園では、幼兒の旗行列を行ふとか、子供を中心とした會を開く

とか云ふ事も、一方法と存じます。然しこの方法はそれ〴〵尙一層の御工夫を願ひ、児童の爲めに、この日を覺えて頂き、また、子供を通じて一般國民の注意を喚起して頂きたいと存じます。

要するにこの機會に於て、幼児教育の大切な事を出来るだけ廣く、世間に知らせたいと云ふ事が、今回の企の目的でございますから、之に就て、皆様の御賛成と、充分の御援助とを偏に希望致します。

○驚くべき乳兒の死亡率

日本の大都市で乳兒の死亡する割合は世界のどの國よりも多いのです。今、一年間に千人生れる子供の中で、死亡する子供の數は凡そ

東京市	一七一人
大阪市	二二三三人
京都市	二〇八人
名古屋市	一八三人
横濱市	一九三人
神戸市	一九五人

これを外國の大都市と比較して見ますと、紐育は千人生れる中で九二人、倫敦が一〇八人です。私共は、児童保護の聲を大にして、短命な子供の少しでも減するようにつとめればなりません。